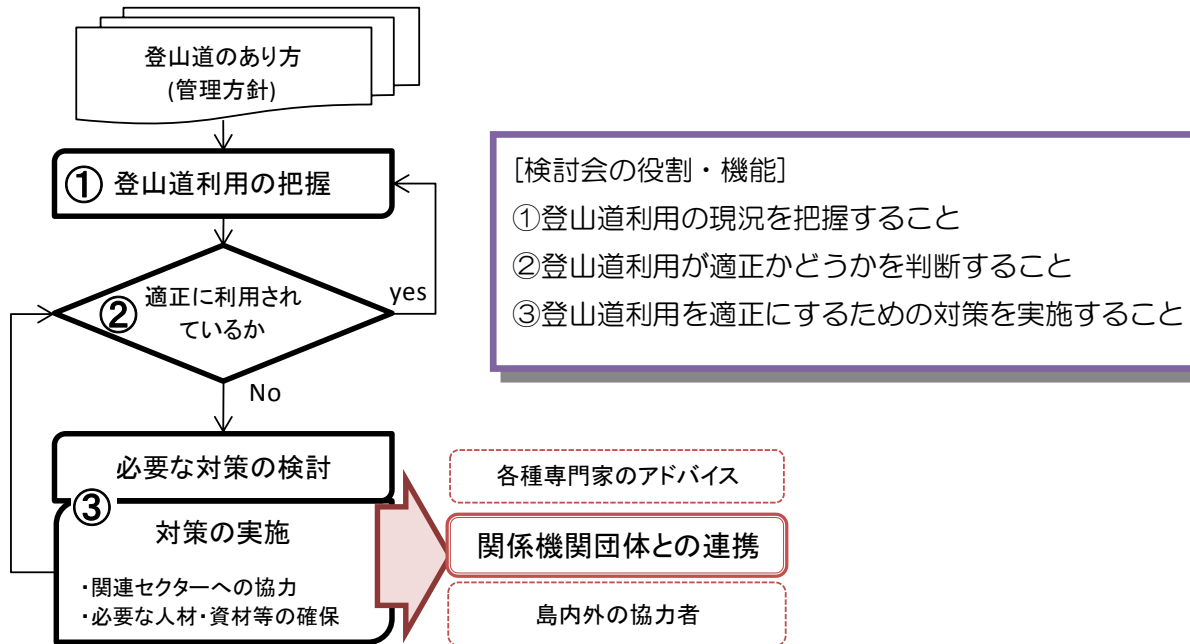


協議会との連携強化に向けて

■ 役割

- 利尻山登山道の適正利用のための対策の検討・実施

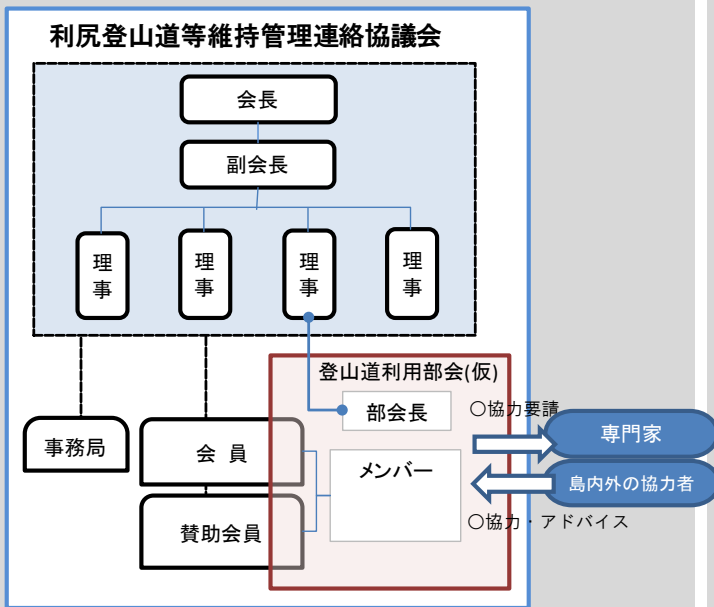


■ 協議会内での位置づけ案

- 対策を実施するための専門グループ(部会?)として設置

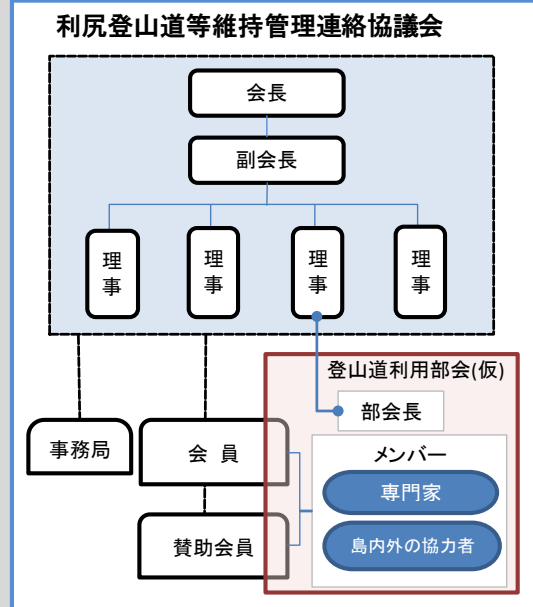
パターンA. 外部連携型

- +: 部会メンバーが少なく内部マネージメントが簡易
- : 外部に協力を依頼するため対策の迅速性がやや劣る



パターンB. 内部充実型

- +: 対策を迅速に講じることができる
- : 部会メンバーが多く内部マネージメントが煩雑に。(部会維持のための労力が増える)



※部会においてボランティアコーディネーターや広報するなど、対策ごとに作業グループが必要となることも予想される。